

情報提供日：令和4年2月14日

## 一般会計予算 257億6,000万円(前年度比△2,200万円・0.1%減) 令和4年度龍ヶ崎市予算(案)を発表しました

龍ヶ崎市では、本日(2/14)予算発表記者会見を開催し、令和4年度龍ヶ崎市予算(案)を公表しましたので、お知らせいたします。

### 【令和4年度予算のポイント】

○公債費や普通建設事業の減と新型コロナワクチン接種体制の確保や社会保障関係費の増が均衡し、一般会計の予算規模は前年度と同水準。

一般会計予算：257億6,000万円(前年度比 △2,200万円・0.1%減)

※一般会計・特別会計予算総額：406億7,780万円(前年度比8億3,510万円・2.1%増)

※下水道事業会計 37億5,950万円(前年度比△7,150万円・1.9%減)

### 【令和4年度の主な事業】

#### ○小中一貫校施設整備事業(3,800万円)

・龍ヶ崎市の未来を担う子どもたちの教育環境向上のため、長山中学校区を対象に施設一体型小中一貫モデル校の整備を推進。スタートとして基本設計を計上。

#### ○支援対象児童等見守り強化事業(1,242万円)

・居場所づくり支援事業について、小中学校の長期休暇期間中の実施日数を大幅に増やし充実させるとともにするとともに、アウトリーチ(訪問支援)を導入。  
・学習支援の対象を小学校4年生から1年生に引下げ。

#### ○乳児家庭全戸訪問事業のアウトソーシング(230万円)

・乳児の健全育成のため、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭に実施する「乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)」を専門機関に委託。

#### ○コンプライアンス推進事業(224万円)

・外部相談員による公益通報相談窓口を開設するとともに、公益通報等審査会を設置。その他、コンプライアンスの意識向上のための職員研修を充実。

### ■龍ヶ崎市長 萩原勇コメント

新年度予算編成の大切なこの時期に、新型コロナウイルスに感染してしまい、本日の記者発表も欠席せざるを得ませんでした。報道機関の皆さまにはご心配をおかけし、誠に申し訳ございません。令和4年度予算は、現在の社会情勢を勘案し、既定の事業の廃止・休止は最小限に止め、市民生活への影響を抑えた予算編成としました。一方で、優先課題である教育環境の向上に向けた新規事業や公約に掲げた市政改革は、優先的に取り組みたいと考えています。

市民の皆さんと一緒に「龍ヶ崎の新時代」を切り開くための予算編成としておりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

■発表日時 令和4年2月14日(月)午前11時 発表  
(上記日時に開催した予算発表記者会見において配布した資料をお送りしています)

■添付資料 ・記者発表資料  
・市長記者発表要旨  
・令和4年度龍ヶ崎市予算の概要

担当課

龍ヶ崎市 総務部 財政課 財政グループ  
担当者：田中(たなか)・木村(きむら)  
連絡先：0297-60-1517(直通)

# 令和4年度は、「龍ヶ崎の新時代」 のための土台固めの年です。

## 令和4年度予算のポイント

一般会計予算は257億6,000万円、前年度比2,200万円の減。  
社会保障関係費増加により、特別会計を含めれば予算規模拡大。

会計別予算の状況		令和4年度	令和3年度	比較	増減率
一般会計		257億6,000万円	257億8,200万円	△2,200万円	△0.1%
特別会計	国民健康保険事業	72億9,600万円	68億6,500万円	4億3,100万円	6.3%
	介護保険事業	58億 500万円	54億3,800万円	3億6,700万円	6.7%
	障がい児支援サービス事業	7,750万円	6,820万円	930万円	13.6%
	後期高齢者医療事業	17億2,600万円	16億7,700万円	4,900万円	2.9%
	介護サービス事業	1,330万円	1,240万円	90万円	7.3%
	工業団地拡張事業	-	10万円	△10万円	皆減
	特別会計合計	149億1,780万円	140億6,070万円	8億5,710万円	6.1%
総計		406億7,780万円	398億4,270万円	8億3,510万円	2.1%
下水道事業会計		37億5,950万円	38億3,100万円	△7,150万円	△1.9%

令和4年度の龍ヶ崎市一般会計予算は、社会保障関係費の増や、新型コロナワクチン接種費、施設一体型小中一貫校基本設計などの新規計上といった増額要因と、公債費の減や、防災情報伝達設備整備など大型普通建設事業の終了、新学校給食センター建設や市道第1-380号線(佐貫3号線)整備などの国補正予算との連動による事業前倒しといった減額要因が均衡し、予算規模としては昨年度とほぼ同規模となりました。

歳入では、市税について、令和3年度は新型コロナの影響により大きく落ち込むと見込みましたが、実際の収入見込みや国の地方財政計画を勘案し、令和4年度は3億8,400万円の増としました。地方消費税交付金をはじめとする各種交付金も同様に増額を見込んでいます。

実質的な地方交付税についても、地方財政計画に合わせて、普通交付税を6億1,100万円の増とする一方、臨時財政対策債は、10億8,900万円の大幅減としています。

財源不足は、財政調整基金と減債基金合わせて5億円の繰り入れで確保しました。前年度比で1億6,000万円の減となっています。

特別会計は、近年の傾向のとおり、高齢化社会の進展を反映し、介護保険事業及び後期高齢者医療事業が増加を続けています。国民健康保険事業は、受診控えが収まったことによる保険給付費等の増を見込んだことから、規模が拡大しています。工業団地拡張事業は、事業完了により令和3年度をもって廃止となりました。

★新規 ☆拡充 ☆継続 ▲計上見送り

### 教育環境の向上と「子育て環境日本一」

★ 小中一貫校施設整備事業（長山中学校区の施設一体型小中一貫モデル校整備に向けた基本設計等）	3,800万円
☆ 新学校給食センター建設事業（総額20億4,340万円）（令和3年度前倒し分5億1,086万円含む）	9億988万円
☆ 支援対象児童等見守り強化事業（アウトリーチの導入・居場所づくり支援事業及び学習支援事業の充実）	1,242万円
★ 子ども家庭総合支援室の体制強化（家庭児童相談システムの構築）	1,085万円
☆ 歯科保健の推進	964万円

### にぎわいの創出と「市民活動日本一」

★ テレワークスペース等整備促進事業	300万円
☆ 定住人口・関係人口創出事業（移住フェア等のイベント開催）	1,150万円
★ 就職イベントの実施による雇用機会の創出	200万円
☆ 市道第1-380号線（佐貫3号線）整備事業（令和3年度前倒し分3億2,470万円含む）	3億4,550万円

### 安全安心なまちづくりと「防災・減災日本一」

☆ ドライブレコーダー設置費補助	100万円
☆ 空家バンク活用の促進（空家バンク活用促進事業補助金）	300万円
☆ 消防団の処遇改善（火災発生時の出動・待機状況に応じた報酬引き上げ）	227万円

### 健康づくりの推進と「スポーツ健幸日本一」

☆ スポーツサロン北文間館の運営と北文間運動広場グラウンド整備	703万円
☆ 健康寿命の延伸に向けた運動習慣の普及（市内4圏域での講座実施等）	1,190万円

### 主な新型コロナウイルス感染症対策

★ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3億499万円
★ 新型コロナウイルス感染症検査費助成事業	1,085万円
☆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費（食料支援等）	172万円
☆ まちづくりクラウドファンディング応援事業・街なか元気アップ支援事業	690万円

### 分かりやすく透明性のある開かれた市政のための取り組み

★ 官製談合再発防止対策検討委員会費	34万円
★ コンプライアンス推進事業	224万円

### アウトソーシング・事務改善等

★ 乳児家庭全戸訪問事業（外部委託）	230万円
☆ 手話通訳士の支援拡充	248万円
★ SDGsの推進（パートナーシップ制度の構築）	32万円
★ 斎場予約管理システム等の導入	108万円

### 事業内容・規模の精査のため、予算計上を見送ったもの

- ▲ 新保健福祉施設建設事業（実施設計）
- ▲ 新長戸コミュニティセンター建設事業（実施設計）

### 公共施設・インフラの新設・拡充等

★ 市道第1-45号線整備事業・市道第3-373号線外整備事業（すべて令和3年度前倒し）	4,800万円
★ 大昭ホール龍ヶ崎（文化会館）小ホール内装改修等工事	8,436万円
★ 総合運動公園の外灯・共有スペース等の照明LED化工事	9,706万円
★ 旧小貝川護岸補修工事	5,000万円

## 市長記者発表要旨

市長に就任して最初の大仕事は、令和4年度の予算編成でありました。本来なら、既定の事業を一旦停止し、精査すべきかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症拡大によって社会全体が試練にある現状においては、市民生活への影響を回避することが肝要と判断し、既定事業の休止や廃止は最小限にとどめた予算編成としたところです。

令和4年度の予算規模であります。一般会計は、257億6,000万円と、前年度とほぼ同規模(0.1%減)、公営企業会計である下水道事業以外の特別会計は、149億1,780万円、6.1%増となり、総額は、406億7,780万円、2.1%の増となりました。

高齢化社会の進展を反映した、介護保険事業、後期高齢者医療事業の社会保障関係費の増加に加え、国民健康保険事業では、新型コロナによる受診控えがおさまることで、保険給付費が増加すると見込んだことが、増額の主な要因です。

なお、工業団地拡張事業は、事業完了により、令和3年度をもって廃止となっております。

つづいて、令和4年度の予算の特徴です。

一般会計の予算は、前年度とほぼ同規模となりました。

増額要因では、障がい者自立支援給付、子どものための教育・保育給付、生活保護扶助費といった社会保障関係費の増や、新型コロナワクチン接種費、施設一体型小中一貫モデル校基本設計の新規計上などがあります。

一方、減額要因では、大型事業の償還完了による公債費の減、防災情報伝達設備整備など建設事業の終了、新学校給食センター建設や市道第1-380号線(佐貫3号線)整備などの国庫補助事業について、令和3年度国の補正予算による事業前倒しなどがあります。

これらによって増減額が均衡したことにより、同規模となったものです。

歳入では、市税について、令和3年度の実際の収入状況や、地方税収入の伸びを見込んだ国の地方財政計画を勘案し、3億8,400万円の増としました。地方消費税交付金をはじめとする各種交付金も、同様に増額を見込んでいます。

普通交付税と臨時財政対策債を合わせた、実質的な地方交付税についても、地方財政計画に合わせ、普通交付税を6億1,100万円の増とする一方で、臨時財政対策債は、10億7,250万円の減としたところです。

収支ギャップを補てんするための、財政調整基金と減債基金、いわゆる一般財源基金の繰り入れは、5億円を計上しました。前年度比では1億6,000万円の減となっております。

次に、令和4年度当初予算に計上した主な事業について、現行の戦略プランに関連付けて、ご説明します。

まず、「教育環境の向上と子育て環境日本一」です。

龍ヶ崎市の未来を担う子どもたちの教育環境の向上は、最優先の課題と捉えています。少子化の進展を見据えたうえ、それに対応した教育環境の整備が急務であると考え、長山中学校区の施設一体型小中一貫モデル校整備に係る基本設計予算を新規に計上しました。令和9年度の開校を目指します。

新学校給食センターは、国の補正予算を活用し、建築工事など5億1,000万円を令和3年度補正予算に計上したほか、当初予算においても、3億9,900万円を計上しています。令和5年9月の稼働に向け、着実に前進させてまいります。

支援対象児童等見守り強化事業では、支援が必要な家庭を定期的に訪問して状況把握や必要な支援につなげる、アウトリーチを導入します。また、居場所づくり支援事業（いわゆる子ども食堂）については、学校給食のない小中学校の長期休暇期間（夏休みや冬休み、春休み）の対応を充実させるため、その期間中の実施数を大幅に増やします。学習支援事業（いわゆる無料塾）は、小学校4年生以上であった対象児童を、小学校1年生まで引き下げ、基礎的学習習慣づくり及び登校意欲の向上等を図ってまいります。

子ども家庭総合支援室の体制強化では、要保護児童、要支援児童のケース記録をデータ管理するための、家庭児童相談システムを構築するとともに、国で整備した要保護児童等情報共有システムと情報連携し、虐待のリスクがある子どもの情報を他市町村や児童相談所と共有して、迅速な対応の強化を図ります。

歯科保健の推進では、令和3年度に開始した、フッ化物洗口事業を、令和4年度も継続してまいります。

「にぎわいの創出と市民活動日本一」では、

テレワークスペース等整備促進事業を新規計上しました。移住定住の促進や多様なワークスタイルへの対応を図るため、市内にテレワークスペース等を整備する事業者に対し、整備費用の一部を補助します。また、移住フェアや就職イベントの開催を予定しています。

広域的な交通アクセスの改善に向け、龍ヶ崎市駅周辺から北竜台市街地方面や国道6号牛久土浦バイパス方面へのアクセス道路となる、都市計画道路佐貫3号線の整備を推進します。国の補正予算を活用し、3億2,470万円を令和3年度補正予算に計上し、いわゆる13か月予算として執行します。今後も、財源を確保しながら事業を推進してまいります。

「安全安心なまちづくりと防災・減災日本一」では、

ドライブレコーダーの設置に対する補助制度のほか、空家バンク活用促進事業補助金などを継続実施します。

また、消防団の災害出動における報酬額を引き上げ、処遇の改善を図ります。

「健康づくりの推進とスポーツ健幸日本一」では、

令和4年度より、「スポーツサロン北文間館」を開設し、ニュースポーツやレクリエーションの普及、立地を生かした屋外スポーツの普及に努めてまいります。

また、介護予防講座やシルバーリハビリ体操などを通じた、健康寿命の延伸に向けた運動習慣の普及も継続してまいります。

新型コロナウイルス感染症対策に係る事業については、国の補正予算を活用して令和3年度補正予算に計上した予算と、当初予算に計上した予算を一体的に執行する予定です。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業は、令和2年度の国の補正予算で措置されたため、当初予算への計上は今回が初となります。

新型コロナウイルス感染症検査費助成と、自宅療養者への食料支援は、いずれも令和3年度から開始している事業です。まちづくりクラウドファンディング事業や、街なか元気アップ支援事業などと共に、令和4年度も継続して実施します。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のような緊急性の高い事業は、適切な状況判断のもと、補正予算への計上を含め、弾力的に対応してまいります。

私の公約の一つである市政改革については、令和4年度から優先的に進めてまいります。市民の皆さんへの情報提供の充実、出前市長室などを活かした広聴機能の充実などを通し、

分かりやすく透明性のある開かれた市政を進めてまいります。

予算に新規計上した取り組みとしては、コンプライアンス推進事業があります。外部相談員による公益通報相談窓口を開設するとともに、公益通報等審査会を設置します。また、コンプライアンスにかかる職員研修の充実を図ります。

アウトソーシングや事務改善にも積極的に取り組んでまいります。

乳児家庭全戸訪問事業は、各家庭への訪問を専門家にアウトソーシングすることで、相談の多い授乳相談等に対してより専門性の高いケアを提供するなど、ニーズに合わせたきめ細やかな支援を提供してまいります。

手話通訳士による支援については、令和3年度には週1日であったものを、週5日に拡充いたします。聴覚に障害のある方がいつ来庁しても、各窓口での対応が可能となります。

SDGsも推進してまいります。SDGsパートナーシップ制度を構築すると共に、市民向けの研修会などの開催も予定しています。

また、斎場予約管理システムを導入するなど、ICT技術を活用した業務改善も積極的に進めていきたいと考えています。

既定事業の休止や廃止は最小限にとどめたところではありますが、新規事業のうち投資的事業は、長期にわたり市政運営へ影響を及ぼすことから、事業の内容や規模を精査すべきと考え、新保健福祉施設と新長戸コミュニティセンターの実施設計については、予算計上を見送りました。

施設建設とその後の運用面の双方から更なる検討を加え、より良いものにしていきたいと考えておりますので、準備が整い次第、予算措置していきたいと考えております。

公約に掲げた、医療態勢等の充実や龍ヶ崎市を担う人づくり、「スポーツ・健康・長寿」「時代を見据えた農業・産業の振興」などの取り組みは、議会の皆さんと丁寧に議論を重ね、市民の皆さんの意見を伺いながら、次期最上位計画に位置付けてまいります。基本的には、令和5年度以降の予算に反映させることとなります。

市民の皆さんと一緒に、「龍ヶ崎の新時代」を切り開いていくための取り組みを積極的に進める所存ですので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。